

設計要求書

【 循環器・呼吸器病センター実験検査棟吸収式冷温水発生機改修工事ほか設計業務 】

本業務の実施項目等は次のとおりとし、改修によって生ずる影響範囲も本設計業務に含めるものとする。

1 共通事項

- (1) 現地調査においては、施設へのヒアリングを十分に行い、将来の病院運営を考慮した設備規模及び、大規模改修や増改築等を想定した設置計画とすること。
- (2) 改修後の管理運営のしやすさやライフサイクルコストを考慮した設計とすること。

2 工事前仮設等

設計にあたり現地調査、既存図面を確認して工事による影響範囲を確認し、段階的な切り替え施工や仮設等を検討確認すること。

- (1) 仮設足場の検討
- (2) 工事中、必要に応じ以下の内容を仮設整備する。
 - ・ コンセント
 - ・ 仮設空調及びその電源
 - ・ その他必要なもの
- (3) 仮設電源設備
工事に伴い停電が発生する場合の停電範囲や回数、想定時間等の検討及び、病院運営への影響を解消するための仮設電源の整備。

3 空調設備工事

- (1) 実験検査棟の空調設備について改修を行う。
 - ・ 改修にあたっては現状の利用状況を把握し、空調範囲及び空調方式の見直しを検討し最適な機能が確保されるものとする。
- (2) 電灯設備
 - ・ 空調設備更新にあたり、機器配置場所変更等により必要な場合は照明器具を更新する。なお、更新対象となった照明器具は全てLEDへと更新する。
- (3) 動力設備
 - ・ 空調設備更新にあたり、機器仕様変更等により必要な場合は動力盤を更新する。
 - ・ 劣化が著しいものは筐体ごと更新とする。それ以外筐体は再利用とする。
 - ・ 機器更新を行う場合は容量計算を行い、必要な場合受変電設備も含めた電源改修を行う。

4 昇降機設備工事

(1) 本館棟のダムウェーターについて改修を行う。

- ・撤去工事：ダムウェーター設備を撤去
- ・新設工事：ダムウェーター設備（扉・枠共）を新設
- ・発生材運搬、処分費：撤去発生材の運搬処分

(2) 電気設備工事

- ・撤去工事：既存電源配線等の撤去
- ・新設工事：新規電源配管、配線等の新設及びインターホンの更新
- ・発生材運搬、処分費：撤去発生材の運搬処分

(3) その他

- ・行政事前協議等確認申請に関する手続き
- ・ダムウェーター改修に必要な工事

※アスベスト含有の恐れがある部材があれば、調査の上、設計に反映させる。

- ・扉幅およびかご内有効寸法は、現状寸法を維持すること。また、寸法決定にあたっては監督員の承諾を得ること。
- ・居ながら工事となることから利用者、作業者ともに十分に安全を確保できる設計を行う。

5 その他

(1) 設計方針、設計範囲等に疑義のある場合は、協議するものとする。

(2) 病院という特性を踏まえ施設管理者と十分に協議を行い、仕様、施工方法、仮設計画の検討を行うこと。